

子どもとの関わりの工夫

●子どもの気持ちや考えに耳を傾けましょう

例：「このお菓子が食べたい」とだだをこねたら？

⇒「これが食べたいんだね」と受け止めた後「ご飯が食べられなくなるから今はがまんしよう」と諭す



●子どもが言うことを聞かない理由を考えてみましょう

保護者の気をひきたい、言われたことが理解できない、体調が悪いなど理由がわかれば冷静に対応方法が考えられます。

●子どもの年齢、成長・発達に応じた対応を心がけましょう

子どもによって成長・発達の状況に差があることを理解することが大切です。



●叱らなくてよい環境づくりを考えてみましょう

子どもに触られたくないものは、見えないところや届かないところにしまうなど環境を変えることでイライラが減ることも

例：子どもが片づけをしない

⇒何をどこに置くかわかるようにすると片づけやすい



●注意の方向を変えたり、子どものやる気に働きかけましょう

例：時間的に可能なときは少し待ってみる

家から出て散歩する等場面を切り替え注意の方向を変えてみる

歌を歌いながら一緒に片づけるなど楽しくできる方法を考えてみる



●良いこと、できていることを具体的に褒めましょう

例：「靴をそろえて脱いでいるね」「一人で洋服が着られたね」



●子どもが選べるように、複数の選択肢を提示してみましょう

子どもの意思を尊重するのも一つの方法です。

例：座って欲しい時に、「床か、この椅子か、どちらかに座ってね」

●肯定文でわかりやすく、時には一緒に、お手本に

伝えるときは、行動に着目して穏やかに、近づいて、落ち着いた声で肯定的・具体的に話す。

例：「走らない」と怒鳴るのではなく、「歩こう」などと肯定的に声掛ける
(片づけをしないときなど)一緒に片付ける
挨拶など自分の行動で子どもにお手本を示す



子育てはいろいろな人の力と共に

子育ては、喜び、楽しさが得られる一方、不安や負担を感じることもあるもの。保護者だけで抱えるのではなく、少しでも困ったことがあれば、まずは、お住まいの区役所保健福祉課子ども・家庭相談コーナーにご連絡ください。

区役所 保健福祉課 子ども・家庭相談コーナー 受付時間 8:30～17:00
(土日・祝日・年末年始を除く)
専門の相談員が、家庭の心配ごとや子どもの養育上の問題等のいろいろな相談に応じます。

門司区	093-332-0115	小倉北区	093-563-0115	小倉南区	093-951-0115
若松区	093-771-0115	八幡東区	093-661-0115	八幡西区	093-642-0115
戸畑区	093-881-0115				

みんなで子どもの命と育ちを守りましょう

児童虐待とは

身体的虐待

- 殴る、蹴る、たたく
- 戸外にしめ出す
- 激しく揺さぶる
- あざ・やけどなどの外傷を負わせるなど

性的虐待

- 子どもへの性的行為
- 性的行為を見せる
- ポルノグラフィの被写体にするなど

ネグレクト

- 適切な食事を与えない
- ひどく不潔にする
- 乳幼児を家や車に放置する
- 子どもの意思に反して学校に登校させない
- 重い病気でも病院に連れて行かないなど

心理的虐待

- 言葉の脅し、無視
- きょうだい間での差別的扱い
- 子どもの目の前で家族に対する暴力や暴言(面前DV)など

通告は支援の出発点

～子どもを虐待から守るためには、情報提供(通告)がとても重要です～

傷やアザがある子どもから話を聞く(相談を受けた)ときは

- まず、子どもの傷、アザを心配する声かけ(「痛そうだね」「痛かったね」)をしましょう。
- 「これ、どうしたの?」などと子どもに聞きながら、他の場所もわかる範囲で見てください。
- 「だれから」「何をされたか」を優先的に聞きましょう。時期(いつ)や期間(いつから、頻度)に関する質問は、年齢によっては答えられないので、無理をしないようにしましょう。
- 質問攻めにならないよう注意しましょう。子どもがうまく表現できなくても、急かさずに子どもの話を聞き、できるだけ子ども自身の言葉や表現を待ちましょう。
- 子どもの表情や仕草もよく観察しましょう。
- 「お父さん(お母さん)がしたんでしょ?」などの誘導するような質問や断定するような問いかけは避けましょう。
- 虐待が疑われる場合は、名前、通っている学校・保育所等、学年(または年齢)、住所など、子どもの特定につながる情報を可能な範囲で聞き取りましょう。
- 「誰にも言わないで」と言われたら、「あなたを守るためには、子どもを守る仕事をしている人に相談することが必要な場合がある」ことを伝えてください。
- 虐待の疑いがあれば、情報提供(通告)してください。



虐待に気付くためのチェックリスト

通告の際は、子どもの氏名、年齢(生年月日)、住所、虐待の内容、子どもの様子、保護者や家族の状況などをわかる範囲で構いませんので、教えてください。

子どもの様子	<input type="checkbox"/>	不自然な外傷(あざ、打撲、やけどなど)がある	一つでも当てはまったら、すぐに通告してください。
	<input type="checkbox"/>	家の外にしめ出されている	
	<input type="checkbox"/>	衣服や身体が極端に不衛生である	
	<input type="checkbox"/>	食事を与えられていない	
	<input type="checkbox"/>	深夜のコンビニ等をウロウロしたり、夜遅くまで遊んだりしている	
	<input type="checkbox"/>	いつも子どもの泣き叫ぶ声や叩かれる音、大人の怒鳴り声が聞こえる	
	<input type="checkbox"/>	極端な栄養障害や発達の遅れが見られる(低身長、低体重、急な体重減少)	
	<input type="checkbox"/>	自ら保護を求めている、または家に帰りたがらない	
	<input type="checkbox"/>	季節に合わない服装をしている	
<input type="checkbox"/>	食事や友達の家で出されたおやつを異常にガツガツ食べる		
<input type="checkbox"/>	ひどく落ち着きがなく乱暴、情緒不安定、過度に緊張し視線が合わない		
<input type="checkbox"/>	気力がない、表情が乏しく活気がない(無表情)		
<input type="checkbox"/>	態度がおびえていたり、親や大人の顔をうかがったり、親を避けようとする		
<input type="checkbox"/>	保護者以外の大人に甘え、警戒心が過度に薄い		
保護者の様子	<input type="checkbox"/>	小さい子どもを置いたまま外出する	一つでも当てはまったら、すぐに通告してください。
	<input type="checkbox"/>	しつけと言って、子どもを叩いたり、蹴ったりする	
	<input type="checkbox"/>	「叩くのを止められない」など差し迫った訴えがある	
	<input type="checkbox"/>	子どもがケガや病気をしても病院に行かない、ケガ等について不自然な説明をする	虐待の可能性がありますので、相談してください。
	<input type="checkbox"/>	地域で孤立している、支援に拒否的である	
	<input type="checkbox"/>	子どもの養育に拒否的、無関心である	
	<input type="checkbox"/>	体罰や年齢不相応な養育(しつけ)を正当化する	
	<input type="checkbox"/>	子どもに対して拒否的な発言をする	
<input type="checkbox"/>	気分の変動が激しく、子どもや他人に感情をぶつける		
<input type="checkbox"/>	子どもが夜間出歩くのを黙認する		